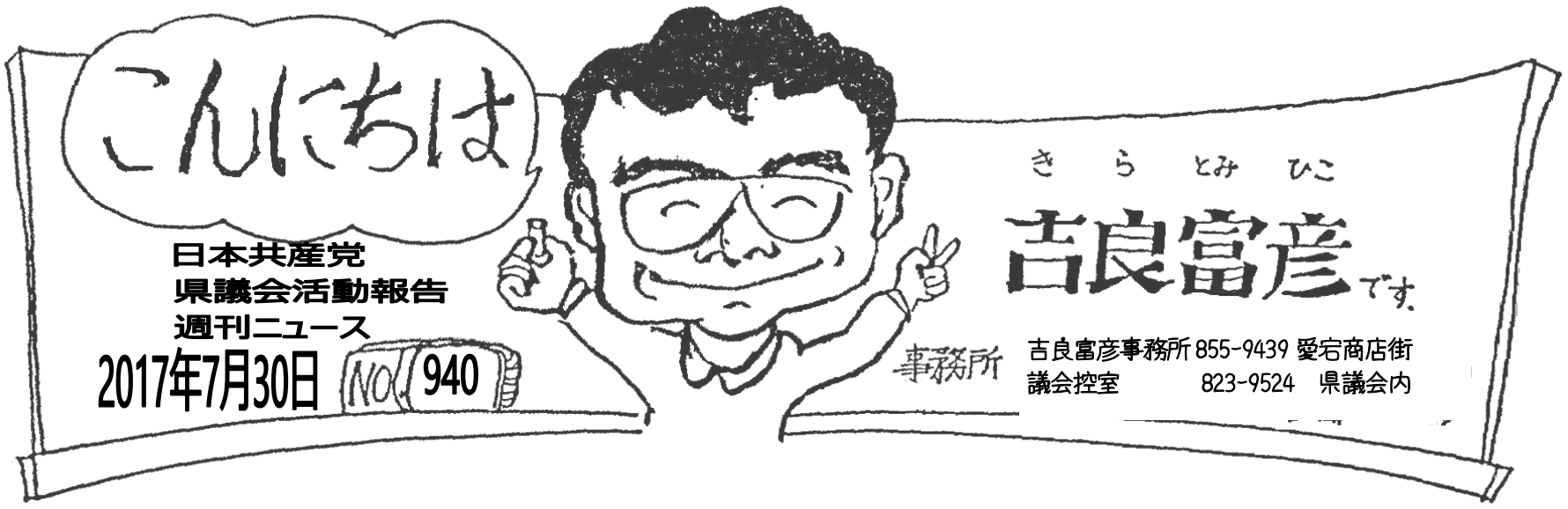


核実験禁止条約採択 日本政府は批准せよ！

● 7月20日、ビキニ核被災国家賠償訴訟第6回口頭弁論終了後、報告記者会見があり私も参加しました。

被告の国側の主張は

①被災に関する資料を意図的に隠してはいない

②第五福竜丸以外の船員は健康を害する被害は受けていないので問題はない

というもの。

これに対し原告の被災船員側は

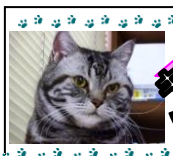
①は太平洋核被災支援センターの30年に渡る調査と資料開示を求める活動歴で十分証明できる。

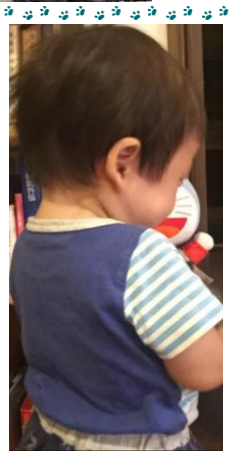
②は内部被曝に関わる研究者・専門家を、今迄の研究者に加えて、素粒子の理論物理学者の沢田昭二名古屋大学名誉教授を新たな証人に加える事を今回、裁判長に申請。次回、9月25日は、これら証人採用可否を巡る準備手続となります。

●7月7日 国連で「核兵器禁止条約」が採択されたことは人類史上画期的で、核と人類は共存出来ないことを身を以て体験した被災船員にとって待ちに待った採択と、原告者支援のセンターは声明を同会場で記者発表。第6条には、核兵器使用や核実験による被害を受けた人々に対する支援を行う事がうたわれています。

唯一の被爆国でありながら採択に反対した日本政府の態度は、ビキニ実験被災者や被爆者の願いを踏みにじるもので許せません。ビキニ水爆実験被災船員の皆さんと共に強く抗議するとともに、速やかな条約批准を政府に求めていきたいと思いました。

キラリンにゃんでも通信



●日本共産党の市田忠義副委員長を迎えた大演説会が7月16日安芸市民会館で600名もの参加で開催。高知一区松本けんじ、二区島崎やすおみ、比例の白川よう子勝利へ総決起です。●都議選の勝利に続き、23日の仙台市長選で共産党含む野党統一候補が自公推薦候補を破って勝利！世論調査の安倍政権支持が26％と危険水域に。地域を回りある美容院でも「お客はみんな怒っている」と。いつ解散総選挙になっても必ず自公を過半数以下に落とさなければ！

●東京の孫と初めてスマートフォンのテレビ電話で話しました。私の顔を見慣れたら、今度会った時に泣かないかもとの思いからです。そうあることを切に願います。